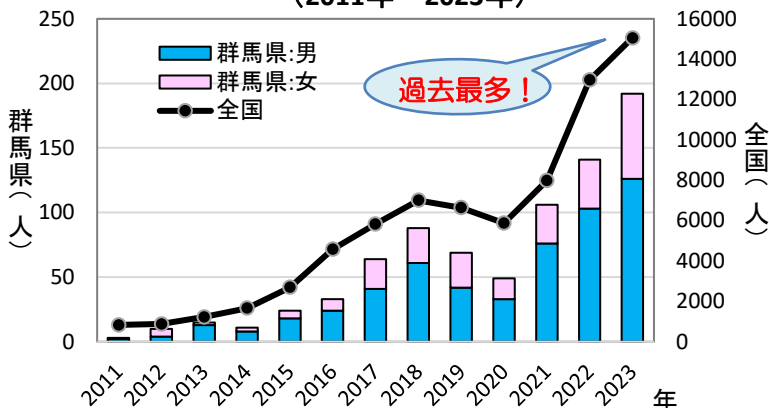


1年間の梅毒の報告数が過去最多でした

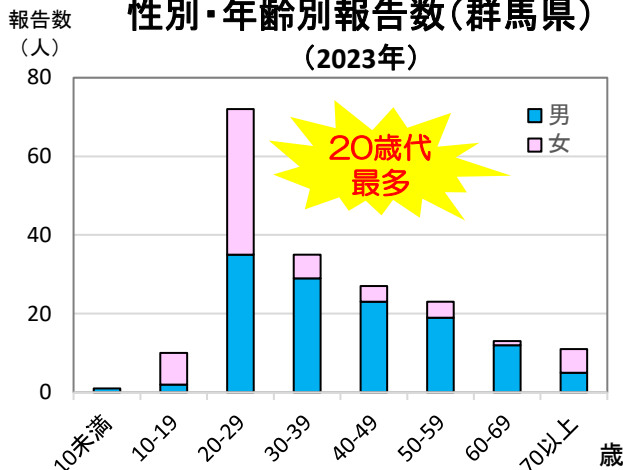


- 群馬県では2023年に192件の報告がありました。これは感染症法に基づく調査が始まった1999年以降、**最多の報告数**です。
- 全国的にも増加傾向が見られ、2023年は過去最多の報告数になりました。
- 2023年の群馬県の報告は男性が66%を占めており、20歳代では男女ともに多く報告されています。

梅毒の報告数 (2011年～2023年)



性別・年齢別報告数(群馬県) (2023年)



◆ 予防や対策は？

- 不特定多数の相手との性行為は感染する（または感染させる）リスクが高くなるので、避けましょう。
- コンドームの適切な使用により感染リスクを減らすことができます。

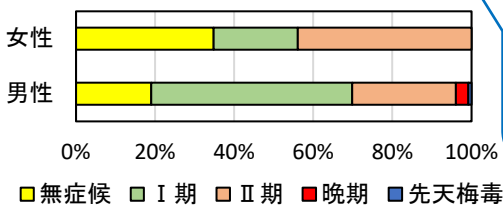
※詳しくは「梅毒に関するQ&A」（厚生労働省ホームページ）をご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/syphilis_qa.html



◆ 無症候の届出が24% (男性19%、女性34%)

届出時病型割合 (群馬県2023年)



無症候の診断契機は
パートナーが陽性
他疾患等で受診
入院時等の検査
風俗利用が心配など

※病期により様々な症状が出ます。

- 第Ⅰ期：口唇・口腔内や外陰部等に豆大のしこり、潰瘍を生じる
- 第Ⅱ期：全身に赤い斑点ができる
- 晩期：心臓、血管、脳などの複数の臓器に病変が生じる

保健所では性感染症の相談・検査を**無料**・**匿名**で行っています
保健所（県保健福祉事務所、市保健所）までお問合せください

- ◆ 県内の保健所では梅毒の即日検査を行っています。事前予約が必要です。検査のWeb予約も可能です。

- ◆ 詳しくは群馬県ホームページをご覧ください。 <https://www.pref.gunma.jp/page/2561.html>

